

予 算 要 求 資 料

令和4年度当初予算

支出科目 款：総務費 項：防災費 目：防災総務費

事業名 防災ヘリコプター若鮎Ⅲ用ヘリテレシステム更新事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

危機管理部 防災課 防災航空係 電話番号：058-385-3772

E-mail：kokul@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 100,524 千円 (前年度予算額： 166,827 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	166,827	0	0	0	0	0	0	166,800	27
要求額	100,524	0	0	0	0	0	0	100,500	24
決定額	100,524	0	0	0	0	0	0	100,500	24

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨（現状と課題）

防災ヘリコプター「若鮎Ⅲ」のヘリコプターテレビシステムは、平成15年度に若鮎Ⅱ用として整備したものであり、運用を開始してから17年が経過している。本設備の部品のメーカー保管期限は概ね10年であるため、保守が困難な状況（修理の際に必要な正規部品が入手できないおそれが極めて高い。）である。

岐阜県では、「若鮎Ⅲ」と警察ヘリ「らいちょうⅡ」にそれぞれヘリテレシステムを導入しているが、今後、「若鮎Ⅲ」の本設備に故障が発生し修理不可能となった場合、東海・東南海・南海地震等発生時等の際、岐阜県の広範囲の県土を「らいちょうⅡ」1機にて情報収集活動を効率かつ迅速に行うことは不可能である。また、らいちょうⅡ号非可動時又はらいちょうⅡ号用機上設備故障時の補完体制が岐阜県のみでは確保できないため、災害時の初期対応で極めて重大な災害情報集活動に影響を与えることが懸念される。

(2) 事業内容

防災ヘリコプター「若鮎Ⅲ」のヘリコプターテレビシステムを更新し、航空機にしかできない災害情報集活動に寄与し、防災力を高める。

また、「若鮎Ⅲ」は、県警との共用機であることから、災害以外においても各種警察活動（初動活動、事件捜査、交通指導取締り、警護等）で効果を発揮することができる。

(3) 県負担・補助率の考え方

岐阜県所有の防災ヘリコプターの運用は県の業務であることから県が負担する。

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
修繕料	100,524	
合計	100,524	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 後年度の財政負担

- 令和3年度から4年度まで2カ年の債務負担
令和3年度：ヘリコプターテレビシステム機器購入費 166,827千円
令和4年度：機器取付にかかるヘリコプター改修費 100,524千円
- 令和3年度中の入札により、「機器取付にかかるヘリコプター修繕費」の必要額が確定していることから、当該費用を要求するもの。

事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

県民の生命・財産を守るため、ヘリコプターの優れた機動性、航空機の得意性を活かした災害情報収集活動を実施し、岐阜県の防災力を高める。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R2)	R2年度 実績	R3年度 目標	R4年度 目標	終期目標 (R4)	達成率
①若鮎Ⅲへの ヘリテレ整備	0件	0件	0件	1件	1件	0%

○指標を設定することができない場合の理由

（これまでの取組内容と成果）

令和2年度	<p>・取組内容と成果を記載してください。</p>
令和3年度	<p>令和5年度当初予算にて追加</p> <p>指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %</p>
令和4年度	<p>令和6年度当初予算にて追加</p> <p>指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %</p>

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<p>・ 事業の必要性 (社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) <small>3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない</small></p>	
(評価) 2	<p>県民の生命・財産を守るために防災ヘリコプターが果たす役割は大きく、ヘリテレシステム更新についても実施の必要性は高い。</p>
<p>・ 事業の有効性 (指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) <small>3：期待以上の成果あり 2：期待どおりの成果あり 1：期待どおりの成果が得られていない 0：ほとんど成果が得られていない</small></p>	
(評価) 2	<p>令和2年度において86件の緊急運航を実施しており、防災ヘリコプターでなければできない活動を行っている。</p>
<p>・ 事業の効率性 (事業の実施方法の効率化は図られているか) <small>2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている</small></p>	
(評価) 1	<p>災害現場において、防災ヘリコプターによる安全かつ迅速な活動が行えるよう訓練を実施している。</p>

(今後の課題)

<p>・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項</p>

(次年度の方向性)

<p>・ 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 消防機関、医療機関、警察航空隊との連携訓練等を実施することにより、緊急運航の安全かつ迅速な対応につなげる。</p>

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

<p>組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課</p>	【〇〇課】
<p>組み合わせる理由 や期待する効果 など</p>	